

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床歯科・口腔外科学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	濱田雅弘				
実務経験とその関連資格	大阪大学歯学部附属病院にて研修医、大学院として3年実務経験。歯科医師免許取得。日本老年歯科医学会会員、日本障害者歯科学会会員、日本睡眠歯科学会会員。言語、嚥下、睡眠を含めた顎口腔機能分野を専門とする。				
《授業科目における学習内容》					
口腔顔面の構造・昨日・疾患・治療・リハビリを学ぶ					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験(60%)、小テスト+授業態度(40%)による成績評価。総合評価。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学					
《授業外における学習方法》					
教科書の予習、教科書での復習、レジュメの復習					
《履修に当たっての留意点》					
小テストが多いので、出席は必ずしてください。授業内容は前後し小テスト内容も前後するので、小テスト内容はその前の授業でアナウンスします。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	歯科とSTのかかわりを理解し、概論を理解する	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強	
	各コマにおける授業予定	歯科概論 歯科の診療・消毒			
第2回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の解剖を理解する	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強	
	各コマにおける授業予定	口腔・顎顔面の解剖			
第3回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の解剖を理解する	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強	
	各コマにおける授業予定	発生、歯の解剖			
第4回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の発生を理解する	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強	
	各コマにおける授業予定	歯と歯周の疾患			
第5回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の機能・疾患を理解する	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強	
	各コマにおける授業予定	口唇口蓋裂(概論)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の疾患を知る	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	口唇口蓋裂(各論)		
第7回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の疾患を知る	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	軟組織の異常、先天異常症候群、外傷		
第8回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の疾患を知る	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	炎症性疾患、口腔粘膜疾患		
第9回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の疾患を知る	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	嚢胞性疾患、腫瘍		
第10回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の疾患を知る	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	唾液腺疾患、ドライマウス、睡眠時無呼吸症候群		
第11回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の疾患を知る	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	顎関節疾患、神経障害		
第12回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の疾患を知る	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	加齢変化、口腔の機能障害		
第13回	授業を通じての到達目標	口腔・顎顔面の疾患を知る	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害(総論)		
第14回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害障害について理解する	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害(各論)		
第15回	授業を通じての到達目標	歯科・口腔外科の疾患、診断、治療についてすべてを総括できるようになる	教科書	授業内容の範囲の教科書を勉強、次回の小テストの勉強
	各コマにおける授業予定	総復習		